

2019年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年5月15日

上場会社名 株式会社イード 上場取引所 東
 コード番号 6038 URL http://www.iid.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 宮川 洋
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部本部長 (氏名) 久岡 千恵 (TEL) 03(5990)5330
 四半期報告書提出予定日 2019年5月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無 ()

(百万円未満切捨て)

1. 2019年6月期第3四半期の連結業績(2018年7月1日~2019年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年6月期第3四半期	3,923	10.6	381	18.1	384	14.5	258	194.9
2018年6月期第3四半期	3,546	4.3	322	90.8	335	94.9	87	142.4

(注) 包括利益 2019年6月期第3四半期 271百万円(145.2%) 2018年6月期第3四半期 110百万円(105.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年6月期第3四半期	53.81	52.84
2018年6月期第3四半期	17.84	17.46

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年6月期第3四半期	3,406	2,427	69.5
2018年6月期	3,391	2,554	73.9

(参考) 自己資本 2019年6月期第3四半期 2,368百万円 2018年6月期 2,507百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年6月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2019年6月期	—	0.00	—	—	—
2019年6月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年6月期の連結業績予想(2018年7月1日~2019年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,900	3.9	300	16.8	300	11.5	180	259.1	36.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 ー社(社名)ー 、除外 ー社(社名)ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用に関する注記

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年6月期3Q	4,994,300株	2018年6月期	4,994,300株
② 期末自己株式数	2019年6月期3Q	552,222株	2018年6月期	91,446株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2019年6月期3Q	4,803,367株	2018年6月期3Q	4,912,450株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料「1. (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社のコンテンツマーケティングプラットフォーム事業（CMP事業）が属するインターネット広告市場につきましては、「2018年 日本の広告費」（株式会社電通）によると2018年のインターネット広告媒体費は1兆4,480億円（前年比118.6%）となり、運用型広告費は1兆1,518億円（前年比122.5%）を占め、高い成長率となりました。

こうした環境の下、当第3四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高は3,923,249千円（前年同期比10.6%増）、営業利益は381,083千円（前年同期比18.1%増）、経常利益は384,504千円（前年同期比14.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は258,463千円（前年同期比194.9%増）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① コンテンツマーケティングプラットフォーム事業（CMP事業）

CMP事業におきましては、当連結会計年度中に、事業譲受により訪日観光客をターゲットとしたメディア「SeeingJapan」等の運営を追加、また事業開発によりマネースキル情報サイト「マネーの達人」の姉妹サイトで、ふるさと納税の情報を発信する「ふるさと納税の達人」、バイクやクルマを愛する女性に向けたライフスタイル重視の情報メディア「Lady Go Moto!」等の運営を開始いたしました。さらに、ブロックチェーンを活用し独自に発行した2種類のトークンを軸にしたゲーム領域でのトークンエコノミー「GameDays」等のリリースを行い、事業拡大を図っております。

当第3四半期連結累計期間の月間平均（2018年7月から2019年3月の9ヶ月平均）PV数は、178,418千PV/月となり、前連結会計年度の月間平均（12ヶ月平均）PV数153,104千PV/月からは16.5%増、前第3四半期連結累計期間の月間平均（2017年7月から2018年3月の9ヶ月平均）PV数152,678千PV/月からは16.9%増加しました。この影響により、当第3四半期連結累計期間のネット広告売上高※1は1,322,643千円（前年同期比34.6%増加）、データ・コンテンツ提供売上高※2は1,406,618千円（前年同期比8.8%増加）となりました。一方で、一部連結子会社株式売却により出版ビジネス売上高※4が182,753千円（前年同期比25.2%減少）、またシステム売上高※3は418,629千円（前年同期比8.1%減少）となりました。

以上の結果、当セグメント売上高は3,317,961千円（前年同期比13.3%増加）、セグメント利益（営業利益）は357,812千円（前年同期比25.5%増加）となりました。

② コンテンツマーケティングソリューション事業（CMS事業）

CMS事業におきましては、リサーチソリューションで海外調査案件の受注減などにより売上高が前年同期比10.0%減少となり、ECソリューションにおいても売上高が前年同期比3.9%減少となりました。

以上の結果、当セグメント売上高は605,288千円（前年同期比2.2%減少）、セグメント利益（営業利益）は23,271千円（前年同期比38.2%減少）となりました。

※1 ネット広告売上とは主に以下による広告売上

- ・運用型広告：アドネットワーク（異なる複数の広告媒体を束ねてネットワーク配信する仕組み）による売上
- ・アフィリエイト広告：成果報酬型のインターネット広告。商品購入や資料請求などの、最終成果またはクリックが発生した件数に応じて広告費用を支払う。
- ・提案型広告：Webメディア側による企画・提案または顧客の要望に基づいて制作する広告
- ・純広告：バナー広告、メール広告など

※2 データ・コンテンツ提供売上とは、主にEC物販、記事提供、データ販売、コンテンツ提供による売上

※3 メディア・システム売上とは、主にオウンドメディア等の構築・運営支援による売上

※4 出版ビジネス売上とは、主に雑誌販売による売上

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は3,406,050千円(前連結会計年度末比14,963千円増加)となりました。主な増減は、受取手形及び売掛金の増加251,924千円、のれんの増加83,442千円、自己株式の取得等による現金及び預金の減少416,975千円であります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債総額は978,446千円(前連結会計年度末比141,741千円増加)となりました。主な増減は、買掛金の増加104,889千円、子会社における短期借入金の増加35,000千円であります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は2,427,604千円(前連結会計年度末比126,777千円減少)となりました。主な増減は、利益剰余金の増加258,463千円、自己株式の取得による減少394,948千円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年6月期の業績予想につきましては、2018年8月14日に公表いたしました数値を修正しております。

詳細につきましては、本日(2019年5月15日)公表いたしました「2019年6月期通期の業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,870,249	1,453,274
受取手形及び売掛金	583,048	834,972
商品及び製品	135,231	135,530
仕掛品	26,433	31,642
貯蔵品	2,012	2,764
その他	116,969	104,919
貸倒引当金	△5,406	△4,421
流動資産合計	2,728,538	2,558,682
固定資産		
有形固定資産	76,225	81,029
無形固定資産		
のれん	88,504	171,946
その他	82,973	106,845
無形固定資産合計	171,478	278,792
投資その他の資産	414,844	487,545
固定資産合計	662,548	847,367
資産合計	3,391,086	3,406,050

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	152,979	257,868
電子記録債務	46,019	47,396
短期借入金	20,000	55,000
1年内返済予定の長期借入金	38,354	42,741
未払法人税等	77,836	87,355
賞与引当金	15,743	22,873
ポイント引当金	6,525	6,269
返品調整引当金	32,720	37,895
その他	316,844	279,759
流動負債合計	707,023	837,159
固定負債		
長期借入金	82,606	93,969
役員退職慰労引当金	114	114
資産除去債務	32,919	33,161
その他	14,041	14,041
固定負債合計	129,681	141,287
負債合計	836,704	978,446
純資産の部		
株主資本		
資本金	868,581	868,581
資本剰余金	856,807	853,925
利益剰余金	877,354	1,135,818
自己株式	△97,347	△492,296
株主資本合計	2,505,395	2,366,028
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	1,896	2,059
その他の包括利益累計額合計	1,896	2,059
非支配株主持分	47,089	59,515
純資産合計	2,554,381	2,427,604
負債純資産合計	3,391,086	3,406,050

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2017年7月1日 至2018年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2018年7月1日 至2019年3月31日)
売上高	3,546,990	3,923,249
売上原価	1,775,949	2,087,951
売上総利益	1,771,040	1,835,297
販売費及び一般管理費	1,448,248	1,454,214
営業利益	322,792	381,083
営業外収益		
受取利息	21	625
受取配当金	3,500	4,000
受取和解金	1,900	—
為替差益	23	—
助成金収入	7,109	2,995
その他	3,062	1,021
営業外収益合計	15,615	8,641
営業外費用		
支払利息	1,190	1,318
為替差損	—	720
自己株式取得費用	1,519	575
投資事業組合運用損	—	2,235
その他	1	370
営業外費用合計	2,710	5,220
経常利益	335,697	384,504
特別損失		
投資有価証券評価損	27,153	—
減損損失	115,296	—
特別損失合計	142,450	—
税金等調整前四半期純利益	193,246	384,504
法人税、住民税及び事業税	61,993	110,646
法人税等調整額	18,943	2,968
法人税等合計	80,936	113,615
四半期純利益	112,310	270,889
非支配株主に帰属する四半期純利益	24,665	12,425
親会社株主に帰属する四半期純利益	87,644	258,463

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年7月1日 至 2018年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2019年3月31日)
四半期純利益	112,310	270,889
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△1,755	163
その他の包括利益合計	△1,755	163
四半期包括利益	110,555	271,052
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	85,889	258,626
非支配株主に係る四半期包括利益	24,665	12,425

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第3四半期連結累計期間(自 2017年7月1日 至 2018年3月31日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

当社は、2017年8月10日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき自己株式を取得すること及びその方法について決議し、当該決議に基づき自己株式を取得いたしました。これを主な要因として、当第3四半期連結累計期間において、自己株式が100,008千円増加しております。なお、当該決議に基づく自己株式の取得について、2017年9月4日をもって終了しております。

当第3四半期連結累計期間(自 2018年7月1日 至 2019年3月31日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

当社は、2019年2月14日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき自己株式を取得すること及びその方法について決議し、当該決議に基づき自己株式を取得いたしました。これを主な要因として、当第3四半期連結累計期間において、自己株式が394,948千円増加しております。なお、当該決議に基づく自己株式の取得について、2019年2月15日をもって終了しております。

(追加情報)

(税効果会計に係る会計基準の一部改正等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2017年7月1日 至 2018年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額
	コンテンツ マーケティング プラットフォーム 事業	コンテンツ マーケティング ソリューション 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,927,869	619,121	3,546,990	—	3,546,990
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,927,869	619,121	3,546,990	—	3,546,990
セグメント利益	285,152	37,639	322,792	—	322,792

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

コンテンツマーケティングプラットフォーム事業において、115,296千円の固定資産の減損損失を計上しております。

当第3四半期連結累計期間(自 2018年7月1日 至 2019年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額
	コンテンツ マーケティング プラットフォーム 事業	コンテンツ マーケティング ソリューション 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,317,961	605,288	3,923,249	—	3,923,249
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,317,961	605,288	3,923,249	—	3,923,249
セグメント利益	357,812	23,271	381,083	—	381,083

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。